学校番号	T0203

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報実習	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新しく覚えたコマンドを使って、自分だけの作品を作って楽しもう。
・Office の「ワード」、「エクセル」について、習熟度を上げるようにし、上級の文章処理技能検定試験、表計算技能検定試験に受験できるような能力を身につけよう。
・TTML 言語を学習し、その応用として自分だけの Web ページを作ろう。
・パワーポイントでプレゼンテーションの作品を作り、それを用い実演をする。さらに、アニメーションの機能を用いて、動画と、それにあった音楽を同時に再生する作品を作り、印象強いプレゼンテーションを行えるようになろう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】今までに習得した知識を、素早くキー操作出来るようになり、上級の文書処理技能検定試験や表計算技能検定試験を受験できるだけのスキルアップを目指す。
【思考力、判断力、表現力等】HTML 言語を学習し、見やすい Web ページを作れるようになりいて情報社会に主体的に参加でき出来る態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】パワーポイントを用いて、いかに効果的なプレゼンテーションできるか主体的に取り組ませる。また、パワーポイントでアニメーションの動きや、それに連動した音楽を再生できる工夫を主体的に行い、工夫を凝らすことができる態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コンピューターを用いた文章処理のスキルアップを目指し、効果的な表現方法を選べる能力を高める。情報社会において、能動的に情報発信を行うことができる能力を高め、プレゼンテーションについても効果的な表現能力を習得させる。	情報社会において、適切な表現方法を選択し、それを実行できるだけの能力を習得するようにする。プレゼンテーションにおいて、幅広い表現能力の向上を目指す。	幅広いコンピューターの活用方法を習得すると同時に、情報社会において、情報発信を積極的に行えるようにし、主体的に情報社会を参加する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	文章処理技能	Office のワード	a:表現に適切なコマンドを覚えている。 b:表現方法に工夫を加える。 c:熱心に取り組んでいる。	・小テスト ・プリント	・プリント ・発表	・授業観察 ・発表
	表計算技能	Office のエクセル	a:表計算の操作方法を習得している。 b:表から、適切なグラフ表現を選べる。 c: :熱心に取り組んでいる。	・小テスト ・プリント	・プリント ・発表	・授業観察 ・発表
後期	HTML 言語	HTML 言語を用いた Web ページ作成	a:HTML 言語を覚えている。 b:HTML で文章が書ける。。 c: :熱心に取り組んでいる。	・小テスト ・プリント	・プリント ・発表	・授業観察 ・発表
	プレゼンテーシ	Power Point を用いたプレゼンテーション	a:コマンドを覚えている。 b:効果的な表現を選べる。 c: :熱心に取り組んでいる。	・小テスト ・プリント	・プリント ・発表	・授業観察 ・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度